

# 研究発表会開催通知

(昭和61年10月15日～11月30日)

研究会	日 時		会 場	備 考
設計自動化	10月21日(火)	9:30～16:40	京 大	前号参照
グラフィクスとCAD	11月7日(金)	13:00～17:00	機械振興会館	下記参照
記号処理	11月10日(月)	13:00～17:00	東 大	同 上
知識工学と人工知能	11月11日(火)	9:00～16:00	機械振興会館	同 上
日本語文書処理	11月12日(水)	13:30～17:00	電 総 研	同 上
データベース・システム	11月17日(月)	10:30～17:00	筑 波 大	同 上
コンピュータビジョン	11月19日(水)	13:00～17:00	K D D 研	同 上
計算機アーキテクチャ	11月20日(木) 11月21日(金)	9:00～17:50 9:00～17:05	東 北 大	同 上
マイクロコンピュータ	11月21日(金)	14:00～17:00	機械振興会館	同 上
自然言語処理	11月21日(金) 11月22日(土)	13:30～18:00 9:00～13:00	大 分 大	同 上
ソフトウェア工学	11月26日(水)	13:30～17:00	機械振興会館	同 上
情報学基礎	11月28日(金)	13:00～17:00	九 大	同 上

## ◆ 第24回 グラフィクスとCAD研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 川合 慧, 幹事: 出澤正徳, 内田光太郎, 守屋慎次)

**日 時** 昭和61年11月7日 (金) 午後1時～5時

**会 場** 機械振興会館 地下3階 研修1号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 渋谷-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車. Tel. 03 (434) 8211]

**議 題** (1) 等角投影法を用いた簡易な立体形状入力システムの試作 第2報

中嶋正之, 安居院猛, 羽生田千春 (東工大・像情報)

[概要] 第1報は, 多角形近似された立体の入力方法について述べた. 第2報では曲面の入力方法について述べる.

(2) 高速画像生成装置におけるプロセッサユニットの構成

三ツ矢英司, 玉邑嘉章, 秋本高明 (NTT 通研)

[概要] 高速画像生成のための高速浮動小数点演算機構と高速アクセス機構を有するプロセッサユニットの構成を述べる.

(3) 高速画像生成装置における画像生成ソフトウェア

秋本高明, 玉邑嘉章, 三ツ矢英司 (NTT 通研)

[概要] 本装置の画像生成ソフトについて述べる. 生成手法は, 光線追跡法とス

キャンライン法を用い、高速化を重視した。

(4) グラフィクス標準化と日本語機能 藤村是明 (電総研)  
〔概要〕 GKS に始まるグラフィクス標準化の中での、日本語機能の現状、問題点について述べる。

(5) CGI と CGM の標準化動向 稲垣充廣 (NTT), 川合 慧 (東大)  
〔概要〕 グラフィクスシステムの下位レベルおよびファイルに関する CGI と CGM の標準化の動向について述べる。

\*今回の研究会は、テレビジョン学会 (画像処理・画像応用, 視覚情報, 画像通信システム, 画像表示の4研究会) との共催で開催されます。

◆ 第41回 記号処理研究会 (発表件数: 6件)

(主査: 和田英一, 幹事: 井田昌之, 小川貴英, 元吉文男)

日時 昭和61年11月10日 (月) 午後1時~5時  
会場 東京大学大型計算機センター 講習会室  
〔東京都文京区弥生 2-11-16, 地下鉄: 千代田線根津下車, 徒歩7分.  
Tel. 03 (812) 2111 ex. 2736〕

- 議題 (1) Prolog・LISP 統合化システムにおけるフレームデータの利用  
田中明夫 (神戸大・工)  
〔概要〕 Prolog から LISP を呼び出し可能にし, Prolog からフレームをバックトラックしながら検索する方法。
- (2) Prolog マシン PEK における Prolog 中間コードについて  
宮本昌也 (神戸大・工)  
〔概要〕 Prolog マシン PEK の高速化のため, コンパイラ用中間コードを設計, その最適化手法について述べる。
- (3) ProBoole: 自由ブール代数を値域とする Prolog  
沼尾雅之, 森下真一, 広瀬紳一 (日本 IBM)  
〔概要〕 自由ブール代数を値の領域としてもつ Prolog を提案し, その言語仕様及び仮説推論への応用について述べる。
- (4) 型推論による Lisp プリコンパイラ 岸田克己, 神尾視教 (NTT 通研)  
〔概要〕 高速化と誤り検査を目的とした, Lisp プログラム中の式の型を推論し型宣言を付加するシステムについて述べる。
- (5) リスト構造の内部表現と処理系  
和田良一, 青木 豊, 本間真人, 江村里志 (松下電器)  
〔概要〕 リスト構造を要素のテーブルで表現する手法, およびその処理系について述べる。
- (6) Common Loops のためのあるメッセージ送信機構 井田昌之 (青学大)  
〔概要〕 Common Loops 処理系において重要な役割を果たすメッセージ送信について考察し, 一つの機構を開発しているので報告する。

◆ 第49回 知識工学と人工知能研究会 (発表件数: 6件)

(主査: 堂下修司, 幹事: 西田豊明, 米澤明憲)

日時 昭和61年11月11日 (火) 午前9時~午後4時  
会場 機械振興会館 地下3階 研修1号室 (所在地は前記参照)

議 題 9 : 00~12 : 00

- (1) 確信度による探索制御とその応用 赤間 清 (北大・文)  
〔概要〕 最良優先探索を基礎とする, 確信度活性化による探索制御とその物語理解, パーザなどへの応用について
- (2) 仮説探索システム HYPOSE 赤間 清 (北大・文)  
〔概要〕 ホーン節における仮説探索の枠組みと, その実現について述べる.
- (3) 定性推論による生体動態解析 田中 博 (東大・医)  
〔概要〕 連続系に対する速度適応解析が可能な定性推論法を開発し, 生体系とくに体液調節系の動態解析に用いた.
- (4) 知識の排他性を利用したパターン照合アルゴリズム  
荒屋真二, 百原武敏, 田町常夫 (福岡工大・通信工学)  
〔概要〕 プロダクションシステムのためのパターン照合アルゴリズムを提案し, Rete アルゴリズムより優れていることを示す.
- (5) AS 3000 用 Kyoto Common Lisp について  
山本孝志, 星野 洋, 才所敏明 (東 芝)  
〔概要〕 AS 3000 用 KCL の拡張機能 (マルチウィンド, グラフィクス) および処理系の性能について述べる.

13 : 00~16 : 00

(6) パネル討論

テーマ : 人工知能研究に期待するもの——日本の人工知能研究の将来像——

司会 : 堂下修司 (京大・工)

パネリスト : 米澤明憲 (東工大・理), 寺野隆雄 (電力中研), 横井俊夫 (ICOT), 雨宮真人 (NTT 基礎研), 渡辺正信 (日電 研究所), 松田元男 (鹿島建設)

(\*協 催 : 人工知能学会)

◆ 第 9 回 日本語文書処理研究会

(発表件数 : 4 件)

(主査 : 山田尚勇, 幹事 : 坂下善彦, 首藤正道)

日 時 昭和 61 年 11 月 12 日 (水) 午後 1 時半~5 時

会 場 電子技術総合研究所 D 棟 8 階 会議室 (D-822)

〔茨城県新治郡桜村梅園 1-1-4, 国鉄 : 常磐線荒川沖下車(上野発 10 : 41, 11 : 03, 11 : 23, 11 : 44) 関東鉄道バス (東口) : 筑波大中央行, 並木 2 丁目下車, 徒歩 5 分. Tel. 0298 (54) 5353, または 2091〕

- 議 題 (1) 和欧混合組版機能を持つインテリジェントプリンタ第 1 版の実現  
関口 浩, 中川正樹, 高橋延匡 (農工大・工)  
〔概要〕 科学技術文書を対象とし, 和欧混合組版機能を有する日本語フォーマッタの開発について述べる.
- (2) 超多段シフト和文キーボード 富樫雅文 (北大・理)  
〔概要〕 仮名漢字変換, コード入力および多段シフトの各方式を統合的に継承した, 新しい和文入力方式について述べる.
- (3) 三角ドットを用いたワープロ用高品質漢字プリンタ  
塩野 充 (岡山理大・工)

〔概要〕 ワープロ漢字プリンタのドット文字を、活字による印刷文字に近づけるために三角ドットを用いた方法を提案する。

(4) カナタイピストにおける指の運動特性について (続報)

渡辺定久 (電総研)

〔概要〕 カナタイピストの入力速度を支配する要因には、配列の良否や習熟の度合いの他に (1) 指の動かし易さ, (2) 文章情報による影響がある. (A) 意味を持たない文字列 (B) 通常の文章による入力実験より各々の要因について述べる.

(5) 見学: 工業技術院計算センター

## ◆ 第 56 回 データベース・システム研究会

(発表件数: 6 件)

(主査: 上林弥彦, 幹事: 石井義興, 鈴木健司, 三浦孝夫)

日時 昭和 61 年 11 月 17 日 (月) 午前 10 時半~午後 5 時

会場 筑波大学 大学会館特別会議室

〔茨城県新治郡桜村, 国鉄: 常磐線荒川沖下車 (上野発 8:29, 8:46), 関東鉄道バス (東口): 筑波大中央行大学会館前下車. Tel. 0298 (53) 2787〕

議題 特集: 情報資源管理 (IRM)

(1) 情報資源管理とデータ中心アプローチ 堀内 一 (日 立)

〔概要〕 システムおよびソフトウェアを標準化されたデータに基づき設計する方法論とその実施上の問題点を述べる.

(2) 情報資源管理システム: IRM 桑野恭二 (日本システミックス)

〔概要〕 情報を第 4 の経営資源として活用するための情報資源管理を実現するコンセプトとツールの紹介.

(3) 統合ディクショナリ 嶋田正裕 (ソフトウェア・エージャー)

〔概要〕 コンピュータ部門をシステム開発センタ, オペレーション・センタ, 情報センタの三つの機能を持った組織としてとらえる. ここで提案する「統合ディクショナリ」はそれらの機能をスムーズに管理するためにどんな管理情報を持つべきかを論ずる.

(4) ブラザーにおける情報資源管理 市川 力 (ビー・エス・ケー)

〔概要〕 従来のデータベースの問題点軽減策を

◇データ管理

◇データベース管理

◇システム開発・運営活動支援データ管理

の 3 視点から紹介する.

(5) 証券会社におけるデータ中心アプローチ

中元秀明 (野村コンピュータシステム)

〔概要〕 証券会社におけるデータ管理, 及びデータ分析に基づくデータベース設計実施の現状と問題点を報告する.

(6) 戦略的情報資源管理——中堅企業のアプローチ——

浅輪壽男 (住友スリーエム)

〔概要〕 従来のプログラム作成を主軸とするシステム開発の進め方を反省し, より広い立場から情報資源の効率使用を目指す当社の考え方を発表する.

\* 今回の研究会は電子通信学会 (データ工学研究会) との共催です.

◆ 第 45 回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数：5 件)

(主査：白井良明，幹事：松山隆司，吉田真澄)

日時 昭和 61 年 11 月 19 日 (水) 午後 1 時～5 時  
会場 国際電電 (KDD) 研究所 第一会議室  
〔東京都目黒区中目黒 2-1-23, 国鉄：恵比寿 (西口) 下車，地下鉄：日比谷線恵比寿下車，山手線の外側三井銀行の左を入り，徒歩 8 分. Tel. 03 (713) 0111〕

議題 (1) Camera Rotation Invariance of Image Characteristics

金谷健一 (群馬大・工)

〔概要〕 カメラの 3 次元的回転によって生じる画像の変換の不変量を回転群表現論より導き，形状認識への応用を示す。

(2) 球面写像による線分の 3 次元方位と距離の計測

稲本 康，森田俊彦，安川裕介，内山 隆，川上 進 (富士通研)

〔概要〕 カメラを移動して入力した時系列画像に対し，球面上の写像処理によって線分の 3 次元方位と距離の計測を行う。

(3) 能動的視覚システムによる 3 次元環境の認識 山本正信 (電総研)

〔概要〕 視点を移動させることにより得た連続ステレオ画像から，運動軌跡の画像化手法により 3 次元情報を抽出する。

(4) 形状規定の自由な基本図形抽出システムの試作

塩原守人，小川 均，北橋忠宏 (阪大・産研)

〔概要〕 抽出対象の基本図形を自由に規定でき，その規定に基づいて濃淡画像より抽出するシステムを試作した。

(5) ジグソーパズルの画像解析と組上げ

飯島純一，岩西秀樹 (電通大)，杉山 浩 (NTT)

〔概要〕 ジグソーパズルのピースの画像から各種の特徴量を求め，組み上げを行った。その実験結果について述べる。

(6) 見学：国際電電 (KDD) 研究所 端局装置研究室

◆ 第 55 回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数：7 件)

(主査：田中英彦，幹事：喜連川優，長谷川隆三)

日時 昭和 61 年 11 月 20 日 (木) 午前 9 時～午後 5 時 50 分  
21 日 (金) 午前 9 時～午後 5 時 5 分  
会場 東北大学工学部 附属図書館工学部分館  
〔仙台市荒巻字青葉，国鉄：仙台駅下車，バス：工学部行 (駅前青葉通り日立ショールーム前より乗車) 約 15 分. Tel, 0222 (22) 1800〕

議題 (1) 可変長レコードを支援するパイプラインマージソータの構成

楊 維康，喜連川優，高木幹雄 (東大・生研)

〔概要〕 可変長レコードソート，複数のストリームの連続ソート等を実現できるパイプラインマージソータの構成を提案する。

(2) データ駆動計算機によるマクロデータフロー処理

平木 敬，戸田賢二 (電総研)

〔概要〕 命令レベルデータ駆動計算機による効率的マクロデータフロー処理の方式を述べる。

- (3) データ駆動計算機における命令水準の静的負荷分散  
大塚喜久 (神戸製鋼所), 坂井修一, 弓場敏嗣 (電総研)  
〔概要〕 データ駆動計算機における命令水準での静的負荷分散方式を提案する。  
同方式の有効性についての評価結果を示す。
- (4) データフロー計算機の負荷制御方式 武末 勝 (NTT 通研)  
〔概要〕 プロセッサ負荷量を稼働率が高くなるある閾値に保つと共に, 再帰関数  
を深さ方向優先で実行する方式とその評価。
- (5) 要求駆動型計算の最適化アルゴリズムの評価 鶴岡行雄 (NTT 通研)  
〔概要〕 関数型言語の要求駆動型計算最適化アルゴリズムを, データフローモデル  
ルシミュレーションにより評価した。
- (6) ストリーム指向型関係データベースマシン・アーキテクチャとその推論  
操作への応用 清木 康, 加藤和彦, 益田隆司 (筑波大・電子・情報)  
〔概要〕 大量データを扱う関係データベース演算およびファクト節に対する推論  
操作を関数型計算の枠組の中で並列処理する関係データベースマシンの  
アーキテクチャについて述べる。
- (7) A Real Time Image Processing using Optically-connected 3D-VLSI  
Architecture 藤田 聡, 相原玲二, 阿江 忠 (広島大・工)  
〔概要〕 イメージプロセッシングのための3次元 VLSI アーキテクチャを提案  
した。ここではパターンマッチングのリアルタイム・アルゴリズムが実行で  
きる。

※ IEEE Computer Society Tokyo Chapter 協賛

\*今回は, 電子通信学会 (回路とシステム研究会, コンピュータシステム研究会) との共  
催です。上記会告は 9 月 24 日現在の申込みによるもので, プログラムは暫定的なもので  
す。上記期日以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子通信学会誌 10 月号に掲載  
されますので, ご了承ください。

## ◆ 第 42 回 マイクロコンピュータ研究会 (発表件数: 3 件)

(主査: 安田寿明, 幹事: 岡田義邦, 斉藤 剛, 若鳥陸夫)

日 時 昭和 61 年 11 月 21 日 (金) 午後 2 時~5 時  
会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室 (所在地は前記参照)  
議 題 (1) 事務文書体系及び事務文書交換様式の国際規格案 (チュートリアル)

若鳥陸夫 (日本ユニバック)

〔概要〕 開放型システム間相互接続 (OSI) の応用の一つとして, メッセージ指  
向文章交換系 (MOTIS) と, その封筒部に入れ交換される事務文書交換体  
系 (ODA) の国際規格案を, マイクロコンピュータ研究者向けに解説する。

(2) 事務文書体系の文字内容体系向けの一解釈系の提案

若鳥陸夫 (日本ユニバック)

〔概要〕 事務文書体系の区画 (ブロック) である文字内容体系の機能符号群を,  
後入れ先出しのスタックを使用して解釈する算法の提案を行う。

(3) 絵文書交換システム Picture Mail System

正木康夫, 加藤直子, 中島美也子, 才所敏明 (東 芝)

〔概要〕 絵 (図形) を含む文書の交換が可能な電子メールシステム PMS および  
その支援システム群について述べる。

◆ 第 58 回 自然言語処理研究会

(発表件数：10 件)

(主査：吉田 将，幹事：田中穂積，野村浩郷，日高 達)

日 時 昭和 61 年 11 月 21 日 (金) 午後 1 時半～6 時  
11 月 22 日 (土) 午前 9 時～午後 1 時

会 場 大分大学工学部 203 号講義室  
〔大分市旦野原 700，国鉄：大分下車，バス：トキハデパート（大分駅前中央通）  
前①番乗場より臼杵，竹田，三重または佐伯行にて 25～40 分，大分大学入口下  
車，徒歩 10 分. Tel. 0975 (69) 3311 ex. 659〕

議 題 11 月 21 日 (金) 13：30～18：00

(1) 日本語文における「の」と連体修飾の分類と解析

平井 誠 (豊橋技科大)，北橋忠宏 (阪大・産研)

〔概要〕 概念の限定を表す「の」と連体修飾句に共通する機能により，両者を結  
合し，その分類と解析を行う。

(2) 知識ベースの生成を目的としたニュース文の解析

遠藤 勉 (大分大・工)

〔概要〕 質問応答システムの知識ベースを雑誌等のニュース文から抽出するため  
の日本語解析法について述べる。

(3) グラフマッチングによる意味解析

丸山 宏 (日本 IBM)

〔概要〕 自然言語の被修飾 - 修飾の関係から意味構造を組立てる手法として，  
グラフのマッチングを用いた方法を提案する。

(4) 談話処理のための意味表現について

内藤昭三，島津 明，野村浩郷 (NTT 通研)

〔概要〕 省略や照応などの談話現象を扱うために，従来の意味表現における問題  
点を言語的および認知的側面から検討する。

(5) 講 演：Work on Semantic, Syntactic and Parallel Parsing at DRL/NMSU

Y. Wilks, D. Farwell, X. Huang, Y. Yang

(ニュー・メキシコ州立大計算機処理研究所 (CRL))

\*講演終了後，簡単な懇親会を行います。

11 月 22 日 (土) 9：00～13：00

(6) 漢字クラスタによる日本語文献の重要語抽出

梅田茂樹，諸橋正幸 (日本 IBM)

細野公男，原田隆史 (慶大)，後藤智範 (愛知淑徳大)

〔概要〕 漢字クラスタを用いて，日本語の科学技術文献からキーワードを自動的  
に抽出する方法について述べる。

(7) 質問応答における意図の把握と話題の管理 加藤恒昭 (NTT 通研)

〔概要〕 分野独立なユーザモデルに基づく対話フェーズの概念とそれを用いた質  
問応答システムのための話題管理方式

(8) 要約支援システム COGITO 北 研二，小松英二，安原 宏 (沖電気)

〔概要〕 世界知識に基づく要約支援システム COGITO の自然言語の意味表現  
形式，要約方式等について述べる。

(9) 言語処理から見た日本語・英語の比較 (その I)

村木一至, 牧野武則 (日電 C&C 研)

〔概要〕 日英翻訳システム開発を通し日本語・英語の語彙機能の差違とそれをシステム設計に反映させる方策について述べる。

(10) 自然言語理解に基づく情報検索システム IRIS

杉山健司, 秋山幸司, 伊吹 潤, 川崎正博, 内田裕士 (富士通)

〔概要〕 自然言語質問文の意味と内容的に一致するテキスト文をテキストベースから検索するシステム。

◆ 第 51 回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 花田收悦, 幹事: 落水浩一郎, 紫合 治, 春原 猛)

日 時 昭和 61 年 11 月 26 日 (水) 午後 1 時半~5 時

会 場 機械振興会館 6 階 65 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) 標準 ML を用いたプログラム設計支援環境 大林正晴 (管理工学研)

〔概要〕 標準 ML を宣言的に仕様記述言語とする視覚的ユーザインタフェースを重視したプログラム設計支援環境の提案。

(2) 構造化プログラムへの変換とその応用 青山幸也 (日本 IBM)

〔概要〕 非構造化プログラムを構造化変換する汎用的アルゴリズムとその単体テストケース作成への応用例の報告。

(3) インタプリタ方式によるプログラム解析・評価システム

羽田野尚登, 永田淳次, 武内 惇 (沖電気)

〔概要〕 クロス開発のホスト計算機上で単体レベルのプログラムの解析・評価をシンボリックに行うインタプリタシステム。

(4) 保守手順に適合する文書情報の編成法

野村恵美子, 落水浩一郎 (静岡大・工)

中村圭吾, 小川正明 (住商コンピュータサービス)

〔概要〕 開発時の文書体系と保守手順の違いを分析して得られた保守用情報スキーマとその評価実験の報告。

(5) 潜在エラー数に影響を与える開発環境要因の評価について

小室 豊 (東芝エンジニアリング)

〔概要〕 開発環境の諸要因が開発されたプログラムに作り込まれるエラーにどのような影響を与えているかの定量的評価。

◆ 第 3 回 情報学基礎研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 藤原 譲, 幹事: 有川節夫, 富永英義, 中村史朗)

日 時 昭和 61 年 11 月 28 日 (金) 午後 1 時~5 時

会 場 九州大学理学部 基礎情報学研究施設会議室 (理学部 3 号館 6 階 3614 号室)

〔福岡市東区箱崎 6-10-1, 地下鉄: 箱崎九大前下車徒歩 10 分, 西鉄バス: 博多駅 (博多口) 朝日センタービル前バス停 15 番, 85 番 (ともに貝塚行) で九大北門前下車, 徒歩 3 分. Tel. 092 (641) 1101 ex. 4484〕

議 題 (1) 単語間の上位一下位関係の自動抽出

鶴丸弘昭 (長崎大・工), 日高 達 (九大・工), 吉田 将 (九工大)

〔概要〕 単語辞書中の語義文から単語間の上位一下位関係を自動抽出する手法について述べる。



- (2) 図形言語とスケッチ・エキスパート 杉山公造 (富士通 国際研)  
〔概要〕 図形言語の概念・用語の整理と修辭術に関する研究成果を示し、知識のスケッチ・エキスパート等への応用を論ずる。
- (3) マルチメディア・フィールドデータの分析と構造化  
打浪清一, 大川剛直, 手塚慶一 (阪大・工)  
〔概要〕 マルチメディアで収集したフィールドデータの持つ情報の分析とその構造化について述べる。
- (4) GENAS (遺伝子-蛋白質構造解析システム) の構築  
久原 哲 (九大・農), 高木利久 (九大・工)  
二村祥一 (九大・計算センタ), 榊 佳之 (九大・遺伝情報)  
林 勝哉 (九大・農), 松尾文碩 (九大・計算センタ)  
〔概要〕 遺伝子と蛋白質の一次配列に関する文献検索機能と各種処理機能を持つ標記システムについて報告する。

◆ ソフトウェア工学研究会

第52回 研究会 (61年度最終回) を下記のとおり開催いたします。ソフトウェア工学全般にわたり理論及び実際面からの発表を歓迎いたします。発表ご希望の方は、11月21日(金)までに、発表題目と50字以内の概要を研究会発表申込書(本誌7月号綴込)にご記入のうえ、学会事務局研究会係までお申込みください。

日 時 昭和62年2月13日(金), 14日(土)  
会 場 山形大学工学部 情報工学科 (米沢市)

◆ 計算機アーキテクチャ研究会

第55回 研究会を電子通信学会(回路とシステム研究会, コンピュータシステム研究会)との共催で、11月下旬に仙台(東北大)で開催いたします。

日 時 昭和61年11月20日(木), 21日(金)  
会 場 東北大学工学部 附属図書館工学部分館  
議 題

・ 一般課題論文

・ 特 集 VLSI とコンピュータ・アーキテクチャ

各種 VLSI アーキテクチャ, 並列処理マシン, 専用マシン等のハードウェア・アーキテクチャの他に, VLSI 向きアルゴリズム, ソフトウェア技術等幅広い分野を対象。

## 情報処理学会第 34 回 全国大会論文募集要領

**開催期日** 昭和 62 年 3 月 18 日(水)～20 日(金)  
**会場** 日本大学・理工学部・習志野校舎(千葉県船橋市習志野台)  
**応募資格** 本学会個人会員(正会員, 学生会員)に限ります。共同発表の場合には, 登壇発表者は会員でなければなりません。なお, 61 年度会費未納の会員は, 登壇発表ができません。また, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には申込みを受け付けません。入会申込書は前号巻末に添付してあります。(電気, 電子通信, 照明, テレビジョン学会会員は全国大会の参加・発表は会員扱いとします。)

### 論文該当分野

1. 基礎理論および数値処理
  - a. 計算理論, b. アルゴリズム, c. ソフトウェア基礎, d. 数値計算, e. 数式処理
  - f. その他
2. アーキテクチャおよびハードウェア
3. オペレーティングシステム
4. データベースシステム
5. ネットワークおよび分散処理
6. プログラミング言語とその処理系
  - a. 手続き型言語, b. 関数型言語, c. オブジェクト指向型言語, d. 論理型言語
  - e. その他の言語, f. 処理系実現手法
  - g. その他
7. ソフトウェア工学
  - a. 要求定義技法, b. 設計技法, c. プログラミング技法(エディタ等), d. テスト技法(デバック等), e. 支援環境, f. 開発・保守・運用, g. 品質・信頼性, h. 仕様作成・プログラム合成, i. その他
8. 自然言語処理
  - a. 解析および生成, b. 機械翻訳, c. 自然言語理解, d. 辞書・データ分析, e. テキスト処理, f. その他
9. 知識情報処理
  - a. 知識表現, b. 知識利用, c. 推論方式, d. 知識ベース, e. 問題解決, f. 知識プログラミング, g. エキスパートシステム, h. 知的インタフェース, i. 学習
  - j. その他
10. パターン処理
  - a. 文字認識, b. 音声, c. 図面処理
  - d. 画像処理, e. 画像データベース, f. 画像処理エキスパートシステム, g. ロボット, h. 画像理解, i. 画像計測, j. その他
11. デザインオートメーションおよびコンピュータグラフィクス
  - a. CAD, b. CAE, c. CAM, d. グラフィクス, e. シミュレーション, f. その他
12. オフィスオートメーション
13. 応用システムおよびその他
  - a. 情報システム, b. ニューメディア
  - c. 教育への応用, d. 芸術への応用, e. 産業への応用, f. 社会への応用, g. 情報処理教育, h. シミュレーション, i. その他

**申込料** 1 件につき 7,000 円です。ただし, 論文集原稿を提出する際に納入してください。なお, 講演申込を取消されても納入していただきます。

**申込方法** 添付の講演申込用紙(1 件 1 枚)に必要事項を記入し, 宛先明記の原稿用紙送付用封筒を同封のうえ, **61 年 10 月 20 日(月)までに(必着)**, 下記申込先へお送りください。登壇発表は原則として 1 人 1 件とします。ただし, やむを得ず 2 件以上になる場合には, 講演参加費は 1 件ますごとに 7,000 円ずつを申しあげます(ただし, 論文集は 1 冊です)。なお, 連続発表希望の場合は, その旨を必ず明記してください。

**論文提出** 所定の原稿用紙を 12 月中旬に送付しますので, 昭和 62 年 1 月 26 日(月)までにご提出ください。発表は日本語または英語で行うものとし, 論文は日本語または英語に限ります。ただし, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には, 原稿用紙を送付しませんのでご注意ください。なお, 大会発表の全論文を JICST の JOIS に入力することとなっております。所定の用紙に標題, 発表者名とアブストラクト(150 字以内)を記述して, 論文と一緒に提出していただきます。

**表彰** 優秀な論文を登壇発表した新進の会員(学部卒業後 10 年未満またはこれと同等の者)には, 学術奨励賞を贈呈し, 次期大会時に表彰いたします。

**申込先** 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル(社)情報処理学会 第 34 回全国大会係  
Tel. 03 (505) 0505



## 欧文誌の原稿募集について

本学会欧文誌「Journal of Information Processing (JIP)」に論文をお寄せください。詳細な投稿規定は JIP 各巻第 1 号に掲載されていますからご参照ください。なお以下にその要約を示します。

### 欧文誌の性格、掲載論文種別

JIP は英文による学術雑誌である。掲載論文等は (1)原著論文, (2)ショートノート, (3)学会出版物のアブストラクト, (4)その他, とする。(1)と(2)を募集する。

### A. 投稿方法

(1) 原稿は 4 部提出する。原著論文は刷り上がり 8 ページ以内を一応の目安とする。ショートノートは 2 ページ以内に限る。

(2) 図面は原則として原本を提出する。

(3) 著者紹介 (英文) および写真を添付すること。

(4) アブストラクトは 3 種必要である。すなわち

a. 論文冒頭に掲げる英文アブストラクト (原著論文では 200 語以内, ショートノートでは 50 語以内)。

b. 前項の和訳。「情報処理」に掲載される。

c. 刷り上がり 1 ページ (表題, 著者名などを含めて) の和文要約。図, 表等を含んでよい。和文論文誌に掲載される。ただしショートノートにあっては刷り上がり 0.5 ページとする。それだけを見れば論文の性格はわかり, 読者に読んでみたいという気を起こさせるようなものであることが望ましい。

なお著者が日本人でない場合には (b) を省略し, (c) は英語版を提出することにしてもよい。その場合は編集委員会で必要な翻訳をおこなう。

(5) 査読割当ての便宜のため, 所定の質問表に回答を記入して添付すること。

(6) 著者の所属, 郵便送付先を明示した書状を添えること。日本語でも可。

### B. 原稿の形式

(1) A判用紙 (21 cm×30 cm) の片面にダブルスペースでタイプ打ちを原則とする。用紙寸法は 8.5"×11" (レターサイズ) でもよい。たとえば 1 行 65 文字, 1 ページ 28 行とし, 上下 3 cm (強) の余白を残し, パラグラフの先頭を 5 字分あける。ただし印字品質が十分よくて読み違いの恐れがなく, 査読者が書き込みをするためのスペースが十分あり, かつ分量の計算が容易にできるようなものであれば, これ以外の形式 (たとえばレーザービームプリンタの出力) であっても差し支えない。刷り上がり 1 ページは, 通常のテキストでは 1,000 語程度であるが, 図等があればその分のスペースを考慮すること。

(2) 前節 A の (4) に記載のとおりのアブストラクトを含めること。

(3) 表題, 著者名, および所属は別紙とする。共著の場合には, 著者と所属の間の対応を明示すること。

(4) 引用文献リストは「JIP」形式による。くわしくは英文投稿規定または最近の JIP を参照のこと。

(5) 図のキャプションをまとめて別紙に示すこと。

(6) その他英文原稿作成の常識にしたがうこと。

### C. 図面の形式

(1) 図は学会ではトレースができないので、鮮明で汚れがなく、コントラストのよいものを提出する。

(2) できればA4判の用紙等を用いる。レターサイズでもよい。

(3) グラフは座標軸のみとするか、主だった格子のみ示すこと。

(4) レタリングが小さくなりすぎないように注意する。

(5) 写真は光沢焼きとし、十分なコントラストと濃淡を持つ常識的な寸法のものとする

こと。

(6) 図画原本には裏面に鉛筆で番号を振り、著者名を書いておくこと。

### D. 査読

投稿原稿は査読される。採否の最終的判断は編集委員会でおこなうが、内容についての最終的責任は著者にある。

### E. その他

(1) 投稿原稿は返却しない。

(2) 掲載論文等の著作権は学会に帰属する。

(3) 著者または著者の所属先に、別刷 100 部を下記価格で購入していただく。

Pages	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Prices	¥5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	55,000	70,000

## 論文誌へのカラー頁導入についてのお知らせ

「カラー写真を含む論文の投稿を可能にしてほしい」との要望を多くの会員よりいただいておりますが、論文誌編集委員会で検討を進めた結果、1 カラー頁当り、4 通常頁分の別刷代をお支払いいただくことにより実現可能である、との結論に達しました。ただちに、この条件のもとに実行に移すことにいたしますので、会員の皆さまの活発な投稿をお願いいたします。

## 第13回 IFIP Conference on System Modelling and Optimization 論文募集について

この会議は工学，自然科学，社会科学を対象とする数学モデルおよび最適化の最近の成果について討議することを目的としています。多くの方の論文寄稿およびご参加をお願いします。

**日時** 1987年8月31日(月)～9月4日(金)  
**場所** 中央大学春日校舎 (東京都文京区春日 1-13-27)  
**主催** (社)情報処理学会, IFIP (TC 7)  
**後援** IFAC, IFORS/APORS  
**協賛** (社)計測自動制御学会, (社)電子通信学会, (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会, 日本自動制御協会, 日本シミュレーション学会, (社)日本数学会  
(予定)

### 主なトピックス

最適制御, 確率的システムのモデリングと最適化, 線形・非線形計画法, 整数計画法とネットワーク最適化, 計算機・通信システムの効率の最適化, 離散システムの最適化, 最適化のためのソフトウェア, 構造システムの最適化, 応用分野 (経済, 工学, 産業, エネルギー, 生化学, 環境, 交通・輸送, 教育システムなど)

### アブストラクト

論文応募の方は 2～4 ページのアブストラクト (英文, タイプ打ち, ダブルスペース) の原本1部, コピー2部を1986年12月31日までに下記連絡先までお送りください。採否は1987年3月15日までにご返事いたします。

**連絡先** 〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11 (株)日本科学技術研修研  
矢島 敬二 Tel. 03 (352) 2231

なお, 会議参加ご希望の方, 今後の案内の送付を希望される方も上記連絡先までご連絡ください。

## 学会誌送本先の住所等の変更届について (お願い)

勤務先, 自宅住所に異動のある方は, 必ず住所の「変更連絡届」用紙 (本号末尾に添付) にて氏名, 会員番号を付し, 早速にご連絡ください。

## COMPSAC '87 日本開催と論文募集

標記国際会議を IEEE Computer Society と来年 10 月に東京で共催いたします。論文募集要綱がまきました。早目にご準備ください。

### 記

**正式名称** The 11th Annual International Computer Software & Applications Conference

**日 時** 1987 年 10 月 5 日(月), 6 日(火): Tutorials  
7 日(水)~9 日(金): Conference

**会 場** 東京都港区 高輪プリンスホテル

**論文募集要綱** (Call for Papers は 10 月上旬にできます。必要な方は 70 円切手を同封のうえ請求のこと。)

- 締 切 1987 年 2 月 1 日
- 論文体裁 full paper 5 部, 1000~5000 語 (paper にアブストラクト 150 語を含む)
- 主なテーマ  
Software Quality and Productivity  
Software Engineering Management  
Development and Maintenance Environment  
Emerging Technologies  
Expert/Knowledge Based Systems  
Applications of Software Engineering Technologies

## JIP 掲載論文の和文要旨について

欧文誌 JIP の採録論文を国内の読者に近づきやすいものとするため、従来学会誌「情報処理」に掲載されてきた 300 字程度のアブストラクトに加えて、「情報処理学会論文誌」に下記の要領で詳細な要旨を掲載することにいたしました。

1. 刷り上がりは論文誌 1 ページ分とする。
2. なるべく図、表等を活用して、中心的なアイデアがよく伝わり、読者に本論文を読みたいという気持ちを起こさせるようなものとするのが望ましい。
3. この概要については、掲載料等は徴収しない。ただし別刷は学会では作成しない。
4. 今後の投稿については、掲載時に概要原稿を添付すること、また現在投稿中の論文については受理決定時に概要の作成を依頼する。
5. 国外の著者については英文で作成してもらい、欧文誌編集委員会において和訳する。

## 「ソフトウェア教育に関するシンポジウム」の 開催および講演予稿集の予約について

現代の緊急課題の一つであるソフトウェア教育問題について、第13期日本学術会議研連活動の一環として、電気工学、電子・通信工学、情報工学の3研連が問題解決の一助としてシンポジウムを開催します。多数の方々の参加をお願いいたします。

**日時** 昭和61年11月10日(月)10:00~17:00  
**場所** 日本学術会議講堂(地下鉄千代田線乃木坂駅下車)  
**参加費** 無料

### プログラム

基調講演(10:00~12:00) 大学等における情報処理教育の基本的あり方  
坂井 利之(京大)

パネル討論A(13:00~15:00) ソフトウェア教育の現状と問題点  
座長 坂村 健(東大)  
パネリスト 大久保英嗣(京大), 金田 康正(東大), 櫛木 好明(松下電器)  
中村 維男(東北大), 渡辺 晴光(NTT)

パネル討論B(15:30~17:00) ソフトウェア教育への提言  
座長 上之園親佐(摂南大)  
パネリスト 家田 正之(名大), 坂井 利之(京大), 城水元次郎(NTT)  
平山 博(早大), 福村 晃夫(名大), 松本 正(北工大)

**講演予稿集** 基調講演およびパネル討論Aの予稿集 予約価 2,000 円

**予約申込締切** 10月30日(木)厳守, 電話での申込みは受け付けいたしません。

**申込先** 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内  
(社)電子通信学会 企画課 Tel. 03(433)6691

### 申込方法

1. 下記の申込用紙をご利用ください。任意の用紙をご利用の場合には、品名、部数、発注者、送付先等を明記してください。
2. 郵便振替で申込まれる場合は通信欄が申込書になります。また、銀行振込の場合には、別途送金内訳を文書で企画課までご連絡ください。
3. 講演予稿集の予約は前払制といたしますので、やむを得ない場合を除き必ず代金を添えてお申込みください。

振替口座 東京 2-35300

銀行口座 第一勧業(当 105-595)・富士(当 6251)・住友(当 263046)の各銀行虎ノ門支店, 三菱銀行虎ノ門公務部(普 0000548)

口座名義 社団法人 電子通信学会

4. 官庁・学校等所定の請求書があるときは予めお送りください。



.....(き り と り).....

第 13 期日本学術会議「ソフトウェア教育に関するパネル討論」講演予稿集  
予 約 申 込 書

昭和 61 年 月 日

品 名	予約価 (円)	部 数	金 額 (円)
ソフトウェア教育に関する パネル討論講演予稿集	2,000 円		

(送料は学会が負担します)

上記のとおり予約いたします。

1. 代金は前払 (現金・振替・銀行)・後払 (該当に印および印)
2. 請求書 通, 納品書 通, 見積書 通, 領収書 通が必要です。
3. 所定の用紙が必要なので添付する。 所定用紙はない (該当に印)

住 所 〒 .....

氏 名 .....

(担当者名も記入) Tel. ....

「1986 年 巨大データベース国際会議 (VLDB) およびエキスパート  
データベースシステムシンポジウム論文紹介」発行について

データベースシステムの新しい方向として、エキスパートシステムとの融合や高度応用、データベースと論理との関連等が注目されている。本書は 1986 年 8 月に京都で開催された巨大データベース国際会議および 4 月に米国のサウスカロライナ州チャールストン市で開催されたエキスパートデータベースシステムシンポジウムの全論文を、本学会データベースシステム研究会で要約・編集したもので、データベースおよびエキスパートデータベースの最新の研究動向を知ることができる有用な資料である。なお、申込書が前号にありますので、多数ご購入されることをお励めします。

会員価格 3,500 円 (定価 4,000 円) 送料 400 円

## 「インタオペラブルネットワーク」シンポジウム開催について

日 時 昭和 61 年 11 月 4 日(火) 9:00~17:00  
場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)  
参加費 正会員 6,000 円, 非会員 9,000 円, 学生会員 1,000 円  
(論文集のみ 2,500 円, 送料 300 円)  
申込締切 昭和 61 年 10 月 20 日(プログラムは前号に, 申込書は 8 月号にあります)

## 「グラフィクスと CAD シンポジウム」開催について

日 時 昭和 61 年 11 月 18 日(火), 19 日(水) 9:00~17:00  
場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)  
参加費 正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円  
(協賛学協会員は会員に準ずる. 論文集のみ 3,500 円, 送料 400 円)  
申込締切 昭和 61 年 11 月 4 日(火)(プログラムおよび申込書は前号にあります.)

### グラフィクス・ビデオショー

18 日(火), 19 日(水)の両日, シンポジウムと並行し, 機械振興会館地下 3 階研修 1 号室において, コンピュータグラフィクスの技法を応用して製作された最新のビデオの上映を行います. なお, ビデオの内容については次号にてお知らせいたします.

## 第 17 回 画像工学コンファレンス

標記コンファレンスが以下の内容で開催されますので, 多数参加されますようおすすめします. 申込方法およびプログラムの詳細は前号末尾に掲載してありますので, ご参照ください.

期 日 昭和 61 年 12 月 2 日(火) 9:20~18:00  
3 日(水) 9:10~18:00 (懇親会 18:10~)  
4 日(木) 9:10~17:40  
会 場 ニッショーホール(東京・虎ノ門・消防会館 2 階)  
参加費 加盟学会員 9,000 円, 学生 4,000 円, 非会員 10,000 円, 懇親会費 4,000 円  
申込締切 11 月 10 日(月)

## 「利用者指向の情報システム」シンポジウム開催について

- 日 時** 昭和 61 年 12 月 5 日(金) 11:00~17:00 (招待講演, 論文発表)  
18:30~20:30 (パネル討論)  
12 月 6 日(土) 9:00~13:30 (論文発表)
- なお 12 月 5 日合宿形式により時間の許す限り懇談・討論を行いたいと思いますので, ご希望の方は参加費のほか, 宿泊費を添えてお申込みください。
- 場 所** (本会場)  
図書館情報大学 (茨城県筑波郡谷田部町春日 1-2) Tel. 0298 (52) 0511  
(パネル討論会及び宿舎)  
筑波研修センタ (茨城県新治郡桜村妻木 645) Tel. 0298 (51) 5152  
図書館情報大学への交通機関  
常磐線土浦駅より関東鉄道バス筑波大中央行 (乗車口 2 番) にて約 30 分, 図書館情報大学前下車  
(発車時刻例 9:20, 9:50, 10:35, 10:50), タクシーにて 15 分 (約 2,500 円)
- 参加費** 会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円  
(論文集のみ 3,000 円 送料 300 円)
- 宿泊費** 6,000 円 (夕・朝食込み)
- 申込締切** 昭和 61 年 11 月 11 日(火) (下記定員になり次第締切らせていただきます。なお, プログラムおよび申込書は前号にあります。)  
宿舎定員 70 名 会場定員 100 名

## 本会協賛等の行事案内\*

- 豊橋技術科学大学開学 10 周年記念国際シンポジウム  
1986 年 11 月 1 日(土)~3 日(月) 豊橋技術科学大学
- 세미나「計算幾何学とその応用技術」  
昭和 62 年 1 月 19 日(月)~20 日(火) 日本 IBM・サイエンス・インスティテュート
- 第 4 回センシングフォーラム  
昭和 62 年 4 月 7 日(火)~8 日(水) 学士会館本館 (東京)
- CG International '87  
1987 年 5 月 25 日(月)~28 日(木) 軽井沢プリンスホテル
- 第 17 回信頼性・保全性シンポジウム  
昭和 62 年 6 月 2 日(火)~4 日(木) 農協ビル・日経ホール (東京)
- IMACS/IFAC 分布定数系のモデル化とシミュレーション国際シンポジウム  
1987 年 10 月 6 日(火)~9 日(金) 広島工業大学・広島校舎

\*詳細は本号会議案内欄参照

## 「ソフトウェア工学の現状と動向」講習会開催について

ソフトウェア生産に関わる諸技術は漸次改善されつつはありますが、今後一層の研究・技術開発を促進すべき問題も多くあり、生産・研究の場の若手の一層の奮起が期待されます。このような状況を考慮し、現在、生産と研究の第一線でご活躍の専門家諸氏をおむかえして、生産技術を中心課題とする講習会を開催いたします。

ソフトウェア工学の諸概念・諸技術の背景と体系を把握しつつ今後への展望を持つこと、主要技術における最新の技術動向と問題点を整理しながら、新技術動向に対する位置付けを明らかにすること、さらには、講師の先生方や参加者各位との交流を通じて、自身の問題に対する認識を深めることは、研究・技術開発への見通しと刺激を得るための良い機会かと存じます。奮ってご参加下さい。

日 時 昭和 61 年 12 月 11 日(木)～12 日(金)

場 所 機械振興会館 大ホール(地下 2 階)

参 加 費 正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円  
(論文集のみ 3,500 円, 送料 400 円)

申込締切 昭和 61 年 11 月 25 日(火)(定員 150 名になり次第締切らせていただきます。)

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

#### 第 1 日 (12 月 11 日(木))

(1) 開催の挨拶 (9:00～9:10)

花田 收悦(主 査)

(2) ソフトウェア工学の背景と展望 (9:10～10:40)

大野 豊(京 大)

——休 憩 (10:40～11:00)——

(3) 要求定義・プロトタイプング技術の現状と課題 (11:00～12:10)

松本 吉弘(東 芝)

——昼 食 (12:10～13:10)——

(4) 設計・自動化技術の現状と課題 (13:10～14:20)

松本 正雄(日 電)

(5) テスト・品質保証技術の現状と課題 (14:20～15:30)

保田 勝通(日 立)

——休 憩 (15:30～15:50)——

(6) 開発管理技術の現状と課題 (15:50～17:00)

花田 收悦(N T T)

#### 第 2 日 (12 月 12 日(金))

(7) ソフトウェア開発環境 (9:00～10:00)

斎藤 信男(慶 大)

(8) 知識工学の応用 (10:00～11:00)

玉井 哲雄(三菱総研)

——休 憩 (11:00～11:20)

(9) 新形態プログラミング (11:20～12:20)

二木 厚吉(電総研)

——昼 食 (12:20～13:20)——

(10) 自然言語処理の応用 (13:20～14:20)

辻井 潤一(京 大)

——休 憩 (14:20～14:40)——

(11) 明日のソフトウェア工学(パネル討論)(14:40～16:50)

司会 鳥居 宏次(阪大), 落水浩一郎(静大), 菅野 文友(東理大)

木村 泉(東工大), 紫合 治(日電), 竹内 郁雄(N T T)

「ソフトウェア工学の現状と動向」講習会

参加申込書

昭和 61 年 月 日

申込者 氏名 \_\_\_\_\_ 会員 No. \_\_\_\_\_

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_

標記講習会の参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論文集のみ (3,500 円, 送料400円) 冊

○送金方法

\_\_\_\_\_円を\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 講習会係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899

三和銀行虎ノ門東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

請求書 \_\_\_\_\_ (No. \_\_\_\_\_)  
通, 見積書 \_\_\_\_\_  
請求先 \_\_\_\_\_ 通, 納品書 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人として下さい (この用紙のコピーで可)。

「1987 情報学シンポジウム」論文募集

科学における情報の流通円滑化と利用高度化のため, データ, 知識, 情報の基本問題と, それらの整備, 応用に関する討議と研究交流をはかる場として1984年以来毎年行われている情報学シンポジウムを開催します。奮ってご応募ください。なお, 詳細は前号本欄参照のこと。

日時 1987年1月13日(火)~14日(水) 9:30~17:00

場所 日本学術会議講堂 (地下鉄千代田線乃木坂駅下車)

講演参加費 10,000円

講演申込締切 昭和61年10月18日(土)

論文締切 昭和61年11月29日(土) 必着

申込および (社)情報処理学会 シンポジウム係

論文送付先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

## 支 部 だ よ り

### 関 西 支 部

#### セミナー「知識ベースとエキスパートシステム」開催について

知識ベースを構成するための方法論，知識表現，知識獲得などの基本的問題を明らかにするとともに，知識処理システムとその Tool の実際を述べ，さらにそれらをベースにして，いくつかのエキスパートシステムの適用事例について解説します。多数ご参加くださるようお願いいたします。

- 期 日** 昭和 61 年 11 月 7 日(金) 13:00~17:25  
8 日(土) 9:30~16:40
- 会 場** 関西情報センター会議室 (大阪市北区中之島 5-3-51 大阪国際貿易センタービル 4 階)
- 参 加 費** 会員 16,000 円 (学生 8,000 円), 会員外 20,000 円
- 申 込 方 法** はがきに「知識ベースとエキスパートシステム」セミナー参加申込書と明記し，勤務先，住所 (郵便番号・Tel.)，所属・役職名，氏名，会員・学生・会員外の別および参加費納入方法を記入のうえお申込みください。参加費はなるべくセミナー当日までにご納入ください。なお，定員約 100 名に達し次第，申込みは締切らせていただきます。
- 申 込 先** 〒530 大阪市北区中之島 5-3-51 大阪国際貿易センタービル 4 階 関西情報センター 気付 情報処理学会関西支部 (担当 大矢，柱本) Tel. 06(448)6630  
銀行送金先 住友銀行中之島支店 (普)908850 (送金手数料は申込者負担)

#### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

##### 第 1 日 (11 月 7 日)

- |                                   |             |
|-----------------------------------|-------------|
| 総論「知識ベースとエキスパートシステム」(13:00~13:15) | 堂下 修司 (京 大) |
| 知識システム方法論 (13:15~14:35)           | 小林 重信 (東工大) |
| エキスパートシステムにおける知識獲得 (14:35~15:55)  | 溝口理一郎 (阪 大) |
| 意志決定システムと知識情報処理 (16:05~17:25)     | 岩井 壮介 (京 大) |

##### 第 2 日 (11 月 8 日)

- Prolog マシン上でのエキスパートシステム構築ツールについて (9:30~10:30)  
進藤 静一 (三菱電機)
- 知識ベースシステム——Expert-U とその応用 (10:30~11:30) 近藤 幾雄 (住友電工)
- エキスパートシステム構築支援 Tool とその応用 (11:30~12:30)  
大塚 雄吉 (東洋情報システム)
- CSRL (Conceptual Structures Representation Language)  
——エキスパートシステム構築の新しい開発手法とその応用事例 (13:30~14:30)  
尾山 伸一 (富士ゼロックス), 池谷 裕之 (三菱商事)
- 医学・医療分野の知識ベースシステム (14:30~15:30) 小山 照夫 (浜松医大)
- 人工知能的アプローチによる列車運転計画の作成 (15:40~16:40) 福森 孝司 (近 鉄)

## 九州支部

### 講習会の開催について

—計算機技術の動向／教育・研究・開発—

標記講習会を下記により開催いたします。多数の方々のご参加をお願いします。プログラムおよび申込方法は8月号本欄を参照ください。

期 日 昭和61年10月18日(土) 9:00~17:30  
会 場 九州大学工学部大講義室(地下鉄「箱崎九大前」より徒歩5分)  
参 加 費 情報処理学会会員 4,000円 情報処理学会会員の大学院生 1,000円  
一 般 6,000円 大学院生 2,000円  
大学生, 高校生 1,000円  
問 合 せ 先 九州大学中央計数施設内 情報処理学会九州支部 Tel. 092 (641) 1101  
(内線 5985 (仲田))

### 講演会

期 日 昭和61年11月28日(金) 13:40~  
会 場 九州大学工学部情報工学科S414 講義室  
演 題 人工知能とロボティクス 辻 三郎(阪大)  
参 加 費 無料(参加資格は問いません)  
問 合 せ 先 情報処理学会九州支部

## 中部支部

### 講演会(1)

期 日 昭和61年10月20日(月) 15:00~17:00  
会 場 豊橋技術科学大学C棟3階312号室(豊橋市天伯町雲雀が丘1-1)  
演 題 学習・記憶の神経メカニズム 榊原 学(名大)  
参 加 費 無料(参加資格は問いません)  
問 合 せ 先 豊橋技術科学大学情報工学系 阿部 健一  
Tel. 0532 (47) 0111 (内線 521)

### 講演会(2)

期 日 昭和61年11月20日(木) 13:30~15:30  
会 場 岐阜大学工学部105教室(岐阜市柳戸1-1)  
演 題 第五世代コンピュータの研究開発 伊藤 英則(ICOT)  
参 加 費 無料(参加資格は問いません)  
問 合 せ 先 岐阜大学工学部電子工学科 後藤宗弘 Tel. 0582 (30) 1111

## 講演会(3)

期 日 昭和61年12月11日(木) 14:00~16:00  
会 場 富山大学工学部大講義室(富山市五福 3190)  
演 題 神経回路と情報処理—ネオコグニトロンとその発展—  
福島 邦彦(NHK 技研)

参加費 無料(参加資格は問いません)  
問合せ先 富山大学工学部電子工学科 吉田順作, 米田政明 Tel. 0764 (41) 1271

## 中国四国支部

### 研究会ならびに見学会の開催について

下記のとおり研究会/見学会を開催いたしますので、奮ってご参加ください。

期 日 昭和62年1月13日(火)  
会 場 四国電力(株)電子技術研究所(松山市湊町 6-1-2)  
定 員 50名(定員に達し次第締切ります)  
参加費 無 料

#### スケジュール

- ・研究会「人工知能とその周辺技術」(13:00~15:00, 6階会議室)  
知的地理情報システム 伊東 靖英, 呉 旭, 田中 稔, 市川 忠男(広島大)  
パソコンによる文庫本の認識システム  
塩野 充, 島田 恭宏, 有信 進二, 松岡 孝則(岡山理科大)  
小型ハイブリッド処理システムと微分方程式の解法  
岩下 英俊, 野田松太郎(愛媛大)  
連想形記憶における連想動作の安定化とその動作解析  
村上 研二, 山條 恭宏, 相原 恒博(愛媛大)
- ・見学会「上記研究所 LA(ラボラトリ・オートメーション)システムおよびその関連設備」(15:00~17:00)

申込方法 往復はがきに「研究会参加」または「見学会参加」(両方への参加も可)と標記し, ①氏名 ②勤務先 ③連絡先(所在地, 電話番号)を記入のうえ, 下記宛お申し込みください。なお, 駐車場がありませんので, 車での参加はできません。

〒790 松山市文京町3 愛媛大学工学部電子工学科 村上研二  
Tel. 0899 (24) 7111



昭和 年 月 日

## 研究会発表申込書

太線枠内のみご記入下さい。

研究会名	研究会									
発表希望の 研究会開催日	昭和 年 月 日 ( )									
タイトル										
発表者名										
概要 (50 字以内)										
原稿用紙送付先住所	〒									Tel. — — (内線 )
氏名										

昭和 年 月 日受付

研究会名	資料 No.	開催日	幹事送付済み	その他
		昭和 年 月 日		